



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 児玉化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4222 URL <https://kodama-chemical.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)坪田 順一
 問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)横山 治男 (TEL)050(3645)0121
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,812	△26.9	244	79.8	132	—	157	—
2020年3月期第3四半期	13,425	△5.4	136	—	△12	—	△264	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 62百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △198百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	22.03	13.74
2020年3月期第3四半期	△68.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,065	3,556	22.1
2020年3月期	12,829	558	△1.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,886百万円 2020年3月期 △208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	0	0
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△27.2	460	150.4	320	—	280	—	44.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1社(社名)無錫普拉那塑膠有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	7,859,191株	2020年3月期	3,952,941株
2021年3月期3Q	70,540株	2020年3月期	79,296株
2021年3月期3Q	6,235,764株	2020年3月期3Q	3,868,929株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(会計上の見積りの変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大によりその活動が停滞し、個人消費、設備投資、輸出を中心に多大な影響がみられ、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言の解除後は感染対策を行いながら経済活動が徐々に回復していましたが、新規感染者が再び増加していることなどから、依然、予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、ASEAN地域においても、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞し、需要が低迷いたしました。徐々に回復しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,812百万円(前年同四半期比26.9%減)と減収となり、営業利益は244百万円(前年同四半期比79.8%増)、経常利益は132百万円(前年同四半期は経常損失12百万円)、また、債務免除により303百万円の特別利益を計上及び新型コロナウイルス感染症の影響により製造の稼働が著しく減少したことによる損失190百万円の特別損失の計上等により、税金等調整前四半期純利益は166百万円(前年同四半期は税金等調整前四半期純損失176百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は157百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失264百万円)となりました。

このような状況の中、当社は、2019年度を初年度として策定した3カ年の再建中期計画に基づき、事業構造改革を推進しておりますが、自動車部品事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により操業縮小・停止等、需要が大幅減少したことにより売上高が大幅に減少し、合理化施策に一定の効果が見られたものの及ばず収益は悪化いたしました。しかしながら住宅設備・冷機部品事業では、新規住宅着工並びにリフォーム需要とも低調に推移し売上高は減少したものの、構造改革の効果が如実に現れ収益は増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 自動車部品事業

当事業の国内自動車部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の多大な影響を受け、第1四半期は顧客の操業縮小・停止が続いておりましたが、第2四半期から回復傾向、さらに第3四半期は販売が急速に回復しており、売上高、収益ともに増加しましたが、挽回までは至りませんでした。また、海外自動車部門のタイのECHO AUTOPARTS (THAILAND) CO., LTD. はコロナウイルスの影響で自動車生産が大幅に落ち込みました。国内と同様に回復基調になっておりますが、減収減益となっております。

この結果、売上高は5,398百万円(前年同四半期比33.6%減)、セグメント損失は57百万円(前年同四半期はセグメント利益280百万円)となりました。

② 住宅設備・冷機部品事業

当事業の国内住宅設備部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復の兆しは見えてきましたが、オフィス設備需要減による空調製品関係は引き続き低調に留まり、売上高は減少いたしました。しかしながら、構造改革の効果、不採算製品の原価改善及び整理・撤退を進めてきた結果、増益となりました。また、海外冷機部品部門におきましては、タイのTHAI KODAMA CO., LTD. はコロナによるコンビニエンスストアの販売不振の影響を受け、食品容器の売上高が大きく減少いたしました。ベトナムのTHAI KODAMA (VIETNAM) CO., LTD. では同じくコロナの影響で業務冷蔵庫用製品が苦戦致した結果、売上高が減少いたしました。社内の合理化を進めた結果、増益となりました。

この結果、売上高は3,717百万円(前年同四半期比20.2%減)、セグメント利益は301百万円(前年同四半期比113.6%増)となりました。

③ エンターテインメント事業

当事業におきましては、外出自粛による所謂‘巣ごもり需要’等の影響で、ゲームソフトパッケージの需要が引き続き増加したことにより、売上高、収益とも増加しました。

この結果、売上高は696百万円(前年同四半期比10.2%増)、セグメント利益は82百万円(前年同四半期比57.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は13,065百万円となり、前連結会計年度末に比べ235百万円の増加となりました。

資産では、流動資産が現金及び預金の増加等により1,009百万円増加し、固定資産が有形固定資産の償却等により774百万円減少しました。

負債では、デット・エクイティ・スワップ及び債務免除等があり、流動負債では短期借入金の減少等により1,849百万円減少し、固定負債が長期借入金の減少等で913百万円減少しました。

純資産では、第三者割当増資等により2,997百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月12日公表時の数値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2021年2月12日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	837,919	1,952,647
受取手形及び売掛金	2,714,331	2,645,444
商品及び製品	337,459	370,024
仕掛品	241,465	231,012
原材料及び貯蔵品	611,427	567,531
その他	157,561	145,650
貸倒引当金	△10,955	△13,454
流動資産合計	4,889,209	5,898,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,220,761	5,846,817
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,806,217	△3,685,804
建物及び構築物（純額）	2,414,543	2,161,012
機械装置及び運搬具	8,243,575	7,832,106
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,908,646	△6,707,704
機械装置及び運搬具（純額）	1,334,928	1,124,402
土地	2,986,308	2,930,905
リース資産	887,724	600,681
減価償却累計額	△492,840	△377,044
リース資産（純額）	394,884	223,637
建設仮勘定	156,689	105,046
その他	3,021,644	2,983,197
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,723,783	△2,747,825
その他（純額）	297,860	235,372
有形固定資産合計	7,585,214	6,780,376
無形固定資産		
その他	57,957	100,495
無形固定資産合計	57,957	100,495
投資その他の資産		
投資有価証券	179,699	194,225
長期貸付金	113,650	—
固定化営業債権	18,990	18,990
繰延税金資産	72,974	56,738
その他	106,058	69,556
貸倒引当金	△193,795	△54,150
投資その他の資産合計	297,576	285,360
固定資産合計	7,940,749	7,166,232
資産合計	12,829,958	13,065,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,992,772	1,763,075
電子記録債務	757,109	718,250
短期借入金	6,157,074	4,622,402
リース債務	117,832	21,444
未払法人税等	53,533	20,450
賞与引当金	71,742	119,882
関係会社整理損失引当金	76,677	—
環境対策引当金	8,280	7,495
その他	663,405	776,009
流動負債合計	9,898,427	8,049,010
固定負債		
長期借入金	1,560,667	801,117
リース債務	124,966	112,145
繰延税金負債	61,267	45,216
株式給付引当金	10,363	7,904
退職給付に係る負債	615,944	493,503
固定負債合計	2,373,208	1,459,887
負債合計	12,271,636	9,508,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343,856	100,000
資本剰余金	272,256	2,254,948
利益剰余金	△3,734,561	648,974
自己株式	△66,560	△59,032
株主資本合計	△185,008	2,944,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,816	△18,274
為替換算調整勘定	62,786	△4,138
退職給付に係る調整累計額	△32,495	△36,012
その他の包括利益累計額合計	△23,526	△58,424
非支配株主持分	766,856	669,726
純資産合計	558,322	3,556,191
負債純資産合計	12,829,958	13,065,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	13,425,547	9,812,998
売上原価	11,768,374	8,400,411
売上総利益	1,657,172	1,412,586
販売費及び一般管理費	1,521,143	1,167,983
営業利益	136,028	244,602
営業外収益		
受取利息	11,493	12,743
受取配当金	8,998	9,427
為替差益	—	1,557
固定資産売却益	9,786	—
その他	18,040	14,737
営業外収益合計	48,318	38,465
営業外費用		
支払利息	126,792	96,508
支払手数料	12,926	15,661
為替差損	20,466	—
その他	36,693	38,389
営業外費用合計	196,879	150,559
経常利益又は経常損失(△)	△12,532	132,507
特別利益		
債務免除益	—	303,485
固定資産売却益	—	1,439
特別利益合計	—	304,925
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	190,276
事業構造改善費用	163,735	73,078
固定資産売却損	—	7,612
特別損失合計	163,735	270,966
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△176,267	166,466
法人税、住民税及び事業税	59,125	25,696
法人税等調整額	△27,178	△7,067
法人税等合計	31,947	18,628
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△208,215	147,837
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	56,267	△9,794
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△264,482	157,631

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△208,215	147,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,979	35,542
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	5,674	△120,704
退職給付に係る調整額	△6,504	△544
その他の包括利益合計	10,149	△85,705
四半期包括利益	△198,065	62,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△266,206	122,732
非支配株主に係る四半期包括利益	68,140	△60,600

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

2020年6月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、エンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合に対して第三者割当により募集株式(普通株式及びA種優先株式)発行し、同組合から2020年6月30日付けで、第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,500,000千円増加いたしました。また、同定時株主総会の決議に基づき、2020年6月30日付で資本金の額4,843,856千円のうち4,743,856千円、資本準備金の額1,822,824千円のうち1,822,824千円を減少させ、その全額をその他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を4,261,164千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填を行っております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更

当社グループは、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を8年に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	エンターテイメント 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	8,133,525	4,659,683	632,337	13,425,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	107,911	216,265	73	324,251
計	8,241,437	4,875,949	632,411	13,749,798
セグメント利益	280,483	141,044	52,258	473,786

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	473,786
全社費用(注)	△640,245
未実現損益調整額	940
その他の調整額	△10,749
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純損失(△)	△176,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	エンターテインメント 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,398,799	3,717,596	696,602	9,812,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	194,511	469,270	—	663,781
計	5,593,310	4,186,866	696,602	10,476,779
セグメント利益又は損失(△)	△57,183	301,313	82,229	326,359

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	326,359
全社費用(注)	△120,285
未実現損益調整額	1,451
その他の調整額	△41,059
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	166,466

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、債務免除益及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。